

大合同の時代

○舊習に囚はれ

共倒れするな。

伯國西爾時報

NOTÍCIAS DO BRAZIL

Publicado semanalmente

Rua Fagundes N. 16

Caixa Postal H

Tele. Central, 5698

S. Paulo, Brazil

Proprietário e editor

Seisaku Kuroishi

Assinaturas

por Anno 15\$000

„ Semestre 8\$000

„ Mez 1\$500

„ Semana \$500

例へばノロエスティ方面に於ける邦人農業者集團地に於て、個々別々に其の事實から歸納したものである。

組合組織勵奨は爾かく淺薄なもので

はなく、今日の文明は最早や合同で

遠く放つて世界の經濟的變革を

見るが可い、十九世紀の文明は分業

にありこそ一代の哲學アダムスミ

スが十八世紀の末葉に於て豫言した

結果ならざるはなしで、商業でも

農業でも益々多岐多端に

分れ、専門の上も専門が出来、遂に

十九世紀に於ける發明、發見の文

明が出現したのである。

尚ほ詳細に云ふならば、風力や、

水力の利用が、更に進んで蒸氣力、

瓦斯力、電氣力の應用となり、鐵道

、汽船、電信、電話を始め、諸種の便

利が博せんと競ふ者の寡ならざるを

見るのであるが、之を單に日本人の

在伯同胞の事業に對し直接日本々國

の事亦徒事ならざると思ふ。

國家が其名に於て或は間接に民間事

方懷柔策に提出するが如きは極力避け

其の行為の非打算的にして、小供業

見たるに失笑する位に留めべき

みたるの現象に着眼し、同胞相合

同して事業に當るの必要にして且つ

利益なるを自覺せねばならぬ。

要するに、時代の潮流に順應す

れば榮え、逆行すれば滅ぶは自然の理

であるから、吾々は深く此の點に

注意して、既に時代遅れとなりたる

分離、孤立の状態より脱却するとの

時に、合同、共力の新潮流に投する

ことが一大急務である。

満蒙經營、臺灣、朝鮮統治、新領

土の處置、西伯利方面の事業等國家

ひある處で、内部遠隔の地に在る農

企業家經營が資金に缺乏する事を

多くする事が頗る

業に投資するが如きは寧ろ奇とする

難事で、其調査を充分にせん爲めに

資金を出さしむるに足る可き信用な

て詳しく述べて見たいと思ふ。

龜裂を入れたくないからだ

に似たるも、邦人在伯狀態の漸く重

きをなすに至りたるは争はれざるもの

である。而して其の事業に投資せ

り確實なる事業なる以上、資金を蒐

集し得ざる事なきは恰も水の低きに

底歐米人の其の如く向上發展を見

得ることが出来ないのみならず、小競

争の為め共倒れの運命に陥らざるを

付け、盜賊を見て縄を紡が如きは

愚の骨頂だと嘲笑した併し吾輩の

組合組織勵奨は爾かく淺薄なもので

はなく、今日の文明は最早や合同で

遠く放つて世界の經濟的變革を

なれば、他と競爭し得ない經濟上

の眞事實から歸納したものである。

組合組織勵奨は爾かく淺薄なもので

はなく、今日の文明は最早や合同で

△一大通河計畫
ミニニツヒに於て二億萬マックの資本を以てレン河メノ河ダニユウヅ河を通じ即ち北海より黒海に聯絡する爲めに大運河開鑿計畫せられた同運河開通の上は千五百噸級船の航行可能であると柏林電報は報す
▲タクナニアリカ
サンチャヤ電報は曰く智利國政界事情に通する者の云ふところによればタクナ及びアリカ問題に關し同政府の有する意見は根本的に解決する唯一の方途は同地方を智利國に歸屬せしむるのみである
▲通送船噸數
華府電報によれば舊曆三十一日海軍會議に於て飛行機母艦噸數所有限度決定された即ち英米は十三萬五千噸日本は八萬五千噸佛伊は各五萬噸
●ローベン男逝去
日露戰爭後ボーザマス講和會議に露印したる駐米露國大使ローベン男は過日の自動車奇禍の爲めに受けた負傷が因となつて一日遂に逝去了年七十二歳と
●日佛密約
米伊水兵の喧嘩
華盛頓及びロンドンよりの電報に依れば華府會議へ極東共和國チタ政府の代表が日佛密約の寫を所有すると云つて哀訴したそれに依ると日佛は軍縮會議に於いて交互にその利權問題に賛意を表し合ひ日本はシベリアの反過激派運動に出兵援助し軍器資金を供給し過激派驅逐の曉はシベリアを自由に支配し得る約束があると之に對し日佛全權は式の如く否認し國務卿ヒューズ氏は佛代表の請に依りテタ代表に該寫本と云ふものゝ提出をなさしむるに至るであらう駐英日本大使館にても日本の反過激派軍動本大使館にても日本の反過激派軍動

▲ジエンモウル氏は「フランス工
 Mondor」誌最近號に、ハンガリ國
 の農業に就いて、興味ある統計を掲
 げてゐる、それに依ると
 ▲一九一〇年に於て、三十二萬五千
 基米突平方の地積と、二千萬の人口
 を有した匈國は、現今に於ては僅か
 に八萬五千基米突の地積を以て、七
 百八十萬の人口を養はねばならない
 ▲然し幸いもその總人口の五割六分
 は農業に從事してゐる、佛國に於け
 る比は四割三分、獨逸に於ては二割
 九分なる點から見て、匈國の農業者
 の數は遙かに優勢である
 ▲匈國域は五百十萬ヘクタレスの耕
 作地と、百五十三萬の牧地と、九十
 三萬五千の森林地と、四十二萬五千
 の庭園、葡萄園地とよりなる、同氏
 は匈國の悲惨な運命に陥つた最大因
 は、國內農産物を以て、國內需要に
 力を盡して、經濟政策を進めて行つ
 た曉は、自給自足の域に達し得るこ
 とは難くはあるまい
 ▲戦前匈國は甜菜糖產地として有名
 であつた、國內需要額十萬噸に對し
 二十四萬五千噸を產してゐたので、
 餘分は凡て輸出せられてゐた、所が
 菜を見やうと云ふことは至難である
 ▲畜産に就いては一層悲惨なものがあ
 ある、即ち一九一七年には六百六十
 二萬四千頭の牛、百六十三萬八千頭

▲戦前に於ては約六百万米立方の木材を産出してゐたのが、現在では五十八萬米突立方を越ゆることを得ない。

●對亞輸出伯國產果物
伯亞商業會議所議員エイトオル・レトロン氏は舊暦一九一七年より二〇年に至るまで實行せられたる伯亞兩國果物輸入税相互免除の特契が昨年五月頭の羊、四百四十萬頭の豚を有するに過ぎない。

亞國に於て報復的課稅をなす以前同二年伯國側にて亞國よりの輸入果物に課稅をなしたるに破られ更に度旨の請願をばすことあれば遺憾なりと云ふにあらず此の件の輸入果物に課稅することを受けたり一九二一年中亞國よりの果物輸入數量は課稅ありしへ云へ一月以降八月までに一二、三〇函にすぎず此の件の輸入果物に課稅する今年も依然課稅されんとするに依り次表の如き伯國輸出數量に對し影響を及ぼすことある今伯國果物の一九二一年一月より十二月十五日迄に亞國に輸入せられたる數量を示せば

月	バナ、ミン房	鳳梨	蜜柑	カッサバ
一月	二〇〇九	一〇〇〇	一一〇〇	一一〇〇
二月	一一〇九	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇
三月	一一〇九	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇
四月	一一〇九	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇
五月	一一〇九	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇
六月	一一〇九	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇
七月	一一〇九	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇
八月	一一〇九	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇
九月	一一〇九	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇
十月	一一〇九	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇
十一月	一一〇九	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇
十二月	一一〇九	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇
晋間(十一月)	一一〇九	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇
計	一一〇九	一一〇〇	一一〇〇	一一〇〇

FUJISAKI & COMP.
種各品本日

藤崎商會

東京本店 赤坂區溜池町卅三
支店 サン・バウロ支店
サン・バウロ支店 リオ・デ・ジャネイロ
支店 ベルナンブー

日本貿易株式會社

聖市出張所
Rua Candelária, 90
Caixa Postal, 1246
Rio de Janeiro

リオ支店

御料理に神醤油を缺くは

大牢の滋味其滋を彰ねず
紅鱗の美魚亦其美を添ず

印醤
印油
神田榮太郎

サントス港

聖波羅土地材木殖民會社

◆當社は水質良好、氣候溫和にして珈琲其の他の全作物に適する肥沃なる絶好殖民地ビリグアイ。エイトール、レグルーの土地を廉價且つ拂込方法を容易にして賣却す
◆當社は既に千八百家の各國人を有し、其中四百家の日本人植民し且道路四通八達し兒童教育機關及日本醫院の設備等あり尚詳細は左記宛御照會ありたし

ビリグイ代理人 宮崎八郎
Est. Bruguy L. NOROESTE

